

◇第 47 回全国高等学校生徒英作文コンテスト◇

全英連は、高校生の英語力の向上をはかり、英語による発表能力を高めるために、昭和 37 年から文部科学省その他関係方面からの後援を得て、全国高等学校生徒の英作文コンテストを実施してまいりました。高校生にとって自分の考えを英語で発表することは決してやさしいことではありませんが、全国各高等学校の先生方をはじめ、各方面のご協力で、このコンテストは年々成果を上げてまいりました。

今年度のコンテストは、次の要領によって募集いたします。先生方にはこの企画の趣旨にご賛同いただき、ますます多数の生徒がこれに応募するようご指導賜りたくお願いいたします。

◆実施要項◆

- ①目的 高等学校生徒の英語学力の向上をはかり、英語による発表能力を高める。
- ②応募規定
- a. 資格 わが国の国公立高等学校および高等専門学校(1～3年)などの学校に在学する生徒。
- b. 題 1年 How I Motivate Myself
2年・3年 'Mottainai' and I <共に題を変えたら失格。副題も不可>
- c. 制限語数 1年は 251 語～500 語 2年・3年は 301 語～600 語<語数オーバー・不足は失格とします>
- d. 用紙 A4判の上質紙。(用紙のサイズ厳守)
- e. 作品 自作未発表のものに限ります。本文はワープロ(黒)、パソコン(黒)、またはペン(自筆で黒インク)で書き、一番上に題を明記し、最後に必ず語数を書き入れる。(句読点は語数に入れない)
本文の右肩に日本語で在学名(国・公立を記入)、
(学校所在地の)郵便番号・学校所在地・学年・氏名・
年齢・性別を三段に書き、ローマ字または英語で氏名・
学校名を二段にして書きそえ在学名を經由して提出してください。
《先生方へお願い》
応募作品はお手数でも、学年別に応募数を記入し、一括して下記あてにお送りください。応募作品は返却いたしません。又、校内予選をされた場合は、作品の学年別総数を必ずお知らせください。なお、1校あたりの応募作品数は、各タイトルにつきそれぞれ最大 20 編に限らせていただきます。作品郵送の歳は、責任者の先生のお名前を必ず明記してください。
- f. 送り先 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 東京都立大泉高等学校 全英連事業部
FAX連絡のみ(03)3924-9931
- g. 締切 平成 20 年 9 月 12 日(金曜日)必着
- h. 版権 主催者に帰属する。
- ③審査
- a. 審査員 専修大学 上村妙子/慶應義塾大学名誉教授・明海大学客員教授 小池生夫/(株)サイマノン・インターナショナル顧問 小松達也/千葉大学教授 大井恭子/東京女子大学・日米会話学院講師 Keneth Y.Sagawa/東京大学教授 柴田元幸/大妻女子大学教授 Timothy J. Wright/明海大学名誉教授 和田稔/全英連会長 塩崎勉 (順不同・敬称略)
- b. 審査方法 応募作品から、1年の部、2年・3年の部各約 120 編を選んで入選とする。入選作品からさらに各 16 編を選んで入賞とする。
- ④発表 入賞・入選者は平成 21 年 3 月 31 日第 58 回全英連大会紀要において発表する。また平成 20 年 12 月中旬に週刊 S T 紙に発表する。
入賞・入選は次の通りである。ただし表彰式は行わない。
- | | | | | |
|-----|---|------|----------|-----------------|
| 個人賞 | } | 最優秀賞 | 各 1 名 | 個人に文部科学大臣奨励賞・副賞 |
| | | 優秀賞 | 各 5 名 | 個人に賞状・副賞 |
| | | 優良賞 | 各 10 名 | 個人に賞状・副賞 |
| | | 入選 | 各約 100 名 | 個人に賞状・副賞 |
- 学校賞 若干校(応募者数、入賞・入選者数、過去の受賞を考慮する)
- ⑤事業発表 平成 20 年旺文社発行の「蛭雪時代」日本英語検定協会の「STEP 英語情報」に発表(7・8月号)
- 主催 全国英語教育研究団体連合会(全英連)
- 後援 文部科学省・日本英語検定協会
- 協賛 旺文社・ジャパンタイムズ

例 東京都立大泉高等学校
178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1
1年・国際太郎・15歳・男
Kokusai Taro
Toritsu-Ohizumi High School